

接着工法

Adhesion method of construction

剛体系吸音材は一般的に、吸音材の背後に空気層を設けなければ吸音性を発揮することはできません。ポアセルは、背後に空気層がなくても高性能の吸音性を発揮出来る稀な吸音材です。その為、ポアセルは接着工法が可能です。接着工法は、施工費が安く、現場対応が簡単に出来ます。シーラーを使い分けることで、下地を選ばずどんな下地にも対応できます。

ポアセル接着工法の施工手順



1. 搬入

荷卸しはフォークリフトやクレーンを使います。(ポアセルの梱包はパレット積みで、約650kg/パレットの重量です。)

2. 墨出し・下地処理

ポアセルの貼付基準の墨出しを行い、下地処理用のシーラーを塗布します。



3. レベルアングル取付

墨出しに従いレベルアングル兼自重受けを取付けます。



4. 接着剤塗布

専用の水溶性弾性接着剤をペラにて全面に塗り付けます。



5. 接着・端部処理

下地面にすり込むように押し付け、上下左右に圧着します。端部は実測し加工寸法を決めます。



6. 加工

実測寸法に基づき加工します。屋外仕様の場合は加工面に撥水剤を塗布します。



7. アンカーダイド

所定径の下孔を開けアンカーをハンマーで軽打し止め込みます。



ポアセル接着工法の特長

» 空気層が不要

空気層をとらずにグラスウールと同等以上の吸音性能を示すため壁面に直に接着することができます。

» 接着強度が優れている

ポアセル専用接着剤を使用します。水溶性の弾性接着剤のため、表面の気泡に食い込みアンカー効果となり、優れた接着強度を発揮します。

» 屋外での使用が可能

耐久性のある高分子系の接着剤を使用しているので屋外および湿度の高い場所でも施工可能です。

» 下地を選ばない

コンクリート面はもちろん、コンクリートブロック、ALC、押出成形板(ラムダ、アスロック等)、スパンクリート、鉄板、フレキ、ケイカル、スレート板などいろいろな面に接着できます。

» 加工性に優れている

木工用ノコギリ、カッター等で簡単に切断できるため、各種開口部廻りの加工も現場で用意に対応できます。

» 施工性に優れている

ポアセルは簡易な接着工法のため、軽鉄下地および保護枠などが不要であり狭い場所での施工が可能で、工期が短縮できます。

» メンテナンスに優れている

外的要因で破損した場合、破損箇所のみの交換が可能であり、専用補修材もあります。

施工概要

下端より積み上げ直貼りしていきます。開口部などは現場にて計測して切断加工します。

